

筑豊小児科医会会報

Vol. 194 2023.3



Contents

- ◇ 今月のトピックス（小児センター、小児病棟、NICU・GCU）
- ◇ 研修医のご紹介
- ◇ 小児科関連勉強会のご案内
- ◇ 飯塚病院 月間診療のまとめ《2022年12月》
- ◇ AI-CAP 通信
- ◇ Pediatrics note（小児科 診療部長 大矢崇志）

発行：飯塚病院小児センター（飯塚市芳雄町 3-83）
（代表）TEL：0948-22-3800

今月のトピックス（小児センター、小児病棟、NICU・GCU）

● 小児センター師長 竹中久美

「小児センター」は 2016 年より小児科と小児外科が連携し、現在看護師 5 名・認定看護師 1 名・看護補助者 1 名・事務 3 名で活動しております。

予約制の診療体制をとっており、かかりつけ医の先生方と情報交換しながら検査・治療を行っています。また専門外来（小児発達神経・循環器・内分泌・腎臓・血液・新生児・アレルギー）では他院からの応援医師の診察もあり、より多くの子どもたちを見て頂いております。

検査や治療・手術などで入院が必要となる場合も、小児病棟と連携し、安心して入院をして頂けるよう準備をしております。また継続看護が必要な場合は、退院前カンファレンスにも参加し、退院後も継続した関わりができるよう情報共有しております。

飯塚病院の理念である「まごころ」を念頭におき、丁寧な対応・優しい声かけ・頑張った子どもたちへのねぎらいの言葉・保護者の方への配慮を忘れず関わっていきたいと思います。子どもたちを取り巻く他職種・他部門との連携、地域の施設や病院の方々と連携をとりながら、安全・安心な医療や看護を提供していきます。



小児センタースタッフ

● 小児病棟、NICU・GCU 師長 立川 翠

平素よりご高配賜り感謝申し上げます。

小児病棟と総合周産期母子医療センターNICU・GCU は当院小児科スローガン『子どもは未来。すべては子ども達のために』のもと日々子ども達とその家族の笑顔のためにまごころ看護を提供しております。

小児病棟では看護師 23 名、教員 1 名、クランク 2 名、看護補助者 1 名が所属し、15 歳以下の小児科・小児外科のみならず他科の入院を必要とする子ども達の受け入れも行っております。

NICU・GCU では看護師 26 名、クランク 1 名、看護補助者 1 名が所属し、入院を必要とする新生児の受け入れを行っており、赤ちゃんが過ごす環境を整え、赤ちゃんの発達を促進できるようなケアを心がけています。

小児病棟と NICU・GCU は同じフロアに配置されているため、常に応援体制がとれる環境であり連携をとりながら赤ちゃんや子ども達へ看護を提供しております。

出産後 NICU・GCU に赤ちゃんが入院することは母親やご家族にとってとても不安の大きいものです。その不安の軽減のために産科病棟だけではなく小児病棟においても母子同室入院体制を整え、看護師の連携のもと母親の不安の軽減に努めています。

COVID-19 の影響で、現在ご家族の面会を制限せざるを得ない状況が続いております。



小児病棟、NICU・GCU スタッフ

しかし、その困難な状況の中でも子どもの笑顔のために、そして『かぞく』が元気に育むことができるよう WEB 面会などを取り入れサポートさせていただいております。

今後も子どもを取り巻く環境変化に応じて、小児センターや産科・救命救急センターなど関連部署や MSW・臨床心理士・地域保健師など多職種とも連携し、子どもやそのご家族の未来のために精一杯まごころ看護をお届けしてまいりますのでどうぞよろしくお願いいたします。

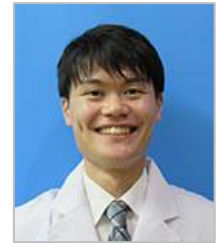
研修医のご紹介

● 初期研修医 2 年目 やぎこうき 八木光生

初期研修医 2 年目の八木光生と申します。

私は来年度より産婦人科を専攻しており、新生児診療について学ぶために NICU をローテーションさせていただきます。

将来の診療に活かしていけるように精一杯励んでいきます。短い間ではございますが何卒よろしくお願いいたします。



● 初期研修医 1 年目 しばやまみちと 柴山道登

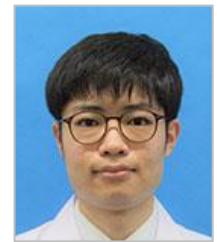
はじめまして、初期研修医 1 年目の柴山道登と申します。

三重県の出身で、当院への入職を機に初めて九州に参りました。

小児科での研修にあたっては、患児や家族との関わりを通じて子どもという存在への理解を深め、その診療特性について実践的に経験を積みたいと考えています。

未熟な点多々あるかと存じますが、ご指導ご鞭撻いただけると幸いです。

それでは 6 週間よろしくお願いいたします。



● 初期研修医 1 年目 すえつぐしゅんいち 末次駿一

初期研修医 1 年目の末次駿一と申します。

これまで小児の診察の機会が少なかったので、救急外来診療を中心に小児の診察を基礎から学んでいきたいと思っております。また、ご家族とのコミュニケーションも円滑にできるように研修させて頂きたいと思っております。

ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします



小児科関連勉強会のご案内

■ 第 345 回 筑豊小児科医会勉強会（総会）

●日 時：2023年3月16日（木）18：30～

◇総 会：18:30 ～ 19:00

形 式：現地開催

会 場：のがみプレジデントホテル 2 階「富士の間」

◇講演会：19:00～

形 式：対面／Web（Zoom）ハイブリッド開催

会 場：のがみプレジデントホテル 2 階「金剛の間」

特別講演 19:15～

「小児アトピー性皮膚炎の治療の最前線」

福岡市立こども病院 呼吸器・アレルギー科 科長 手塚純一郎先生

* 事前申込が必要です。詳細につきましては案内状をご確認ください。

飯塚病院 月間診療のまとめ 《2022年12月》

●入院患者数 120人 ●外来患者数 1,248人 ●救命救急センター受診者数 428人

●新生児センター入院患者数 23人 ●分娩件数 35件 ●手術件数 9件

●主要疾患数（退院患者数：103人）

痙攣及びてんかん	19	肺炎・気管支炎	13	高ビリルビン血症及び黄疸	6
新生児呼吸障害・心血管障害	6	低出生体重児	6	喘息	5
急性上気道感染症	4	急性胃腸炎	2	その他	42

●12月紹介件数

小児科：112件			小児外科：12件		
①	いづかこども診療所	8	①	こどもクリニックもりた	3
	栗原小児科内科クリニック			栗原小児科内科クリニック	
③	飯塚急患センター	6	②	津川診療所	2
	松尾ファミリークリニック			有松病院	
	雪竹医院			菅原内科呼吸器科医院	
⑥	こどもクリニックもりた	4	④	富士見ヶ丘内科循環器科医院	1
	こども発達療育センターテコテコ			宮田病院	
	弥永内科小児科医院			やまのファミリークリニック	

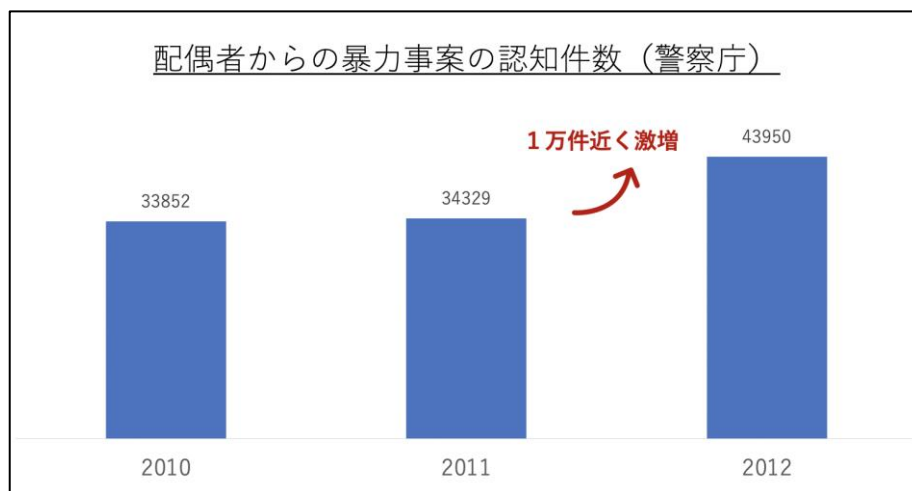
3.11東日本大震災

東日本大震災から今年で12年となります。これまでに経験したことの無い複合的な大災害であり、医療支援として訪問した岩手県大船渡市と陸前高田市の状況を今でも鮮明に覚えております。

被災地においては、子どもたちが抱える課題を解決するため、子どもを持つ家庭などへの訪問健康相談、子どもの心と体のケア、学習支援、就労支援を含め、子どもに対する支援や取り組みは今も続いています。

「災害時の暴力問題」

大災害や戦争時に、女性や子どもが被害（DV、虐待、性暴力など）に遭うリスクが高まることが国際的に知られています。



DVの状況（2012年1月～8月）として、福島県で前年比64%増、宮城県で同33%増の相談があり、児童虐待も同様の傾向がありました。2012年には福島県警で前年比76%増、宮城県警も同34%増の虐待取扱い件数があり、いずれも高い増加率でした。

災害時には、弱い立場に置かれ、支援を必要とする女性や子どもたちが、暴力問題に直面するリスクが高くなります。平時からしっかりと問題を認識し、相談支援や連携体制の充実を図ることで、有事においても迅速な対応が可能となります。

一人ひとりがかげがえのない存在として大切にされる「社会」を築くためにも、まずは、自分たちにもできる小さなことから始めませんか？

小児虐待防止委員会 委員長 田中 祥一郎

<AI-CAP事務局へのお問い合わせ> TEL：0948-88-8220（直通）FAX：0948-88-2806

Pediatrics note (小児科 診療部長 大矢崇志)

映画「かがみの孤城」を観ました。主人公はいじめが原因で不登校になった女子中学生・ころ。ある日部屋の鏡が光り出し、吸い込まれるように中に入ると、そこには不思議な城と見ず知らずの中学生 6 人と城の番人が。番人に「城に隠された鍵を見つければ、どんな願いでも叶えてやろう」と告げられ、鍵を探すことになった子どもたちの交流を通して、この年代の子どもが抱える悩みや子どもに対する社会の無頓着さが描かれます。映画の始まり、フリースクールのキタジマ先生がころに出会った際の振る舞いを見て、僕はやられてしまいました。先生はスクールの個室で座って待つところに、まず「ここに座ってもいいかしら？」と言ったのです (!)。相手を尊重し、パーソナルスペースに入るための許可を得る。相手が大人なら普通に行う行為を子どもにできる大人はどれほどいるのでしょうか。僕ならいきなり椅子に座って「こんにちは」と言ったでしょう。それ以降、当事者の話し合いで解決しようとする担任から守ってくれるなど、先生は終始味方になってくれ、その対応の全てに僕は感銘を受けました。本当に良い先生。

不登校や心身症の子ども達に出会った時、私たちはまず問題を突き止め、その問題を解決しようとしています。問題が解決すれば子ども達の症状がよくなる、という筋立てからの行動ですが、果たしてそうでしょうか。心の傷を体の傷に置き換えるとわかりやすいかもしれませんが。段差で転んで骨を折って動けなくなった時、段差を埋める工事をして、骨折がよくなるでしょうか。治療は色々ありますが、大事なのはしっかり休んで、安静を保ち、栄養をとって、ゆっくり眠る。体も心も同じはずです。機会があれば皆さんもぜひご覧ください。ミステリー要素もあって、とても面白いです。

最後にパンフレットに書いてあった今作の原恵一監督の言葉をご紹介します。優しく、度量が大きくて、いい言葉です。

【伝えたいのは「たいていのことはなんとかなるよ、大丈夫」ということ。映画で人の命は救えないかもしれないけど、気持ちを変えることぐらいはできる。それを信じているし、これからもそういう作品を作っていきたい】

最新の情報は 飯塚病院ホームページよりご覧ください。

また、小児科・小児外科の詳しいご紹介や診療実績は「診療科のご紹介」をご覧ください。

外来担当表



小児科のご紹介



小児外科のご紹介

